



「農の暮らし」(41)

～つくる つながる ささえあう～ うだ^{むそ}夢創の里



奈良県宇陀市 仲尾 京子さん

地域のにぎわいを取り戻す為、様々なNPO や団体が協働で活動し、お子さんからお年寄りまで楽しく交流できる場を提供している『うだ夢創の里』。この施設を運営している仲尾さんにお話を聞きました。

保育所跡に誕生

2011年、近所の保育所が廃校になり、市は取り壊す予算もなく、放置されるどころでした。20年前から続けていたリサイクル活動の拠点や、お年寄りなどみんなが楽しく集まることのできる場所を作りたいと思い、まず宇陀市にお願いしました。

廃校になる保育所も、最初は滅多なことでは貸せないと言われていましたが、宇陀市もまちづくり支援課ができたばかりで市民と行政の協働が大切だと思ってくれたのか、建物を市から無償で貸与してもらうことができました。奈良県の新しい公共の場作りのモデル事業補助金による支援も2年間受けることができ、『うだ夢創の里』は動き出すことができました。

1991年から地域でリサイクル活動を始めた『地球の宝を守り隊』、そして2003年に『地球村』の高木代表の環境講演会を開催してその時に出会った仲間がずっと今も中心となって来ています。

今、拠点ができたことによって活動の幅が広がり、同じ想いの人たちが、網の目のように繋がって来ています。



ナウシカのような風景を取り戻したい

この辺りは高齢化が進み、お年寄りの人たちは農仕事ができなくなり、耕作放棄地が広がっている状態でした。私が嫁いできた頃は、麦畑の景色がとてもキレイな場所でした。またその風景を取り戻したいという思いがあり、賛同して下さる方々と一緒に田んぼや畑を始めることになりました。最初は『地球の宝を守り隊』のメンバーで細々としていたのですが、今では奈良ストップ温暖化の会、地域の農家さんと、少しずつクチコミで広がって来ています。また、今まで手が回らず荒れていた土地で自然農をしたいと、外から宇陀に移り住んでくれる若者

もいます。畑を一部手伝ってくれたり、若者たちとの交流も楽しいです。

仲間が広がる楽しみとこれから

地元の人との繋がりが多のですが、友達の友達が人を紹介してくれるなど、だんだん人の輪が地域の外の方にまで広がってきました。地域を元気にしたいという、外部の団体や有志の方々との交流も増え、皆が繋がってきているので面白いです。里を立ち上げたから、里の情報を発信しているから、人が集まって来てくれるのだと実感しています。



畑や田んぼを始めると、ここで採れた食材を「食」と結びつけ、レストランや配食で活かし、地域で循環していきたいという気持ちが大きくなってきました。そこで、まちづくり支援で知り合った仲間と共に、配食サービスを立ち上げることにしました。この辺りは高齢化が進んでいますので、週に2回、安否確認も兼ねて、地元で採れた野菜を使った配食サービスを始めます。新鮮な野菜を中心に食べてもらいたいと思っています。

秋の11月には、婚活事業も計画しています。奈良県の事業で、レストランでご飯を食べて話すだけでなく、男女が一緒

に収穫や農業体験などで体を動かしてもらおうというものです。そのために、サツマイモや秋頃に収穫できるものを考えて植えたりなど、おばちゃんたちがノリノリで準備をしています。

他に、石窯も作る予定です。黒米を作っているので、黒米を作ったピザやパンを石窯で焼いて作ろうと計画しています。自分ができること、自分がやりたいことをみんなが進んでしてくれるので、もう始めるの？ という感じでそれぞれの夢が実現していきます。

若い人にバトンタッチを

みんなが楽しく集まれる場所をと思い、『うだ夢創の里』を立ち上げたので、私たちも老後は若い人に運営してもらい、農業をしながらゆったりとここで楽しみたいと思っています。これからは更に人との繋がりを広め、もっと元気で楽しい場にしていきたいです。

★『うだ夢創の里』に是非体験に来てください。畑で採れたてのもので作った料理を外で仲間と共に食べると、本当に美味しいですよ。

うだ夢創の里 <http://musonosato.org/>
奈良県宇陀市室生大野 2130-1

